

さようなら こんにちはは 学校

ちいさななかま 2010年 3・4月号
くよみもの編

低学 年向

「保健室のクッキー」

(913カ) 上條さなえ作

「ほくはチワワのクッキー。『ちょっと修行してきなさい』といわれて、学校の保健室で『おしごと』することになったんだ。」

学校に行くのは人間だけじゃないんだ...

「おともだちにナリマ小」

(913タ) たかどのほうこ作

1年生になったばかりのハルオくん。学校に行くといつともようすがちがいます。なんとそこはキツネの小学校。キツネたちはハルオくんの学校の子どもに化ける練習を...。



中学 年向

「どうなっちゃってるの!? クレメンティン」

(933ペ) サラ・ペニー・ピッカー作

先生はあたしによく「集中しなさい」と言うけど、あたしはちゃあんと授業中、窓の外の出来事に集中してるし、友だちのマーガレットの髪を切って赤く塗ってあげたのだって、ちゃあんと理由があるのに、大人にはちっともわかんないんだなあ。

とびきり元気な女の子、クレメンティンの楽しいお話



「チームふたり」(913ヨ) 吉田万理子作

卓球部夏の引退試合。市木会でベスト8に残ることを目標にがんばってきたのに、下級生の純とダブルスを組むことになった大地。純とじゃ一回戦を突破できるかどうかもわからない。ところが家で木間題が起こり、卓球をつづけられるかどうかもあやしくなってる...!

高学 年 以上

「お金もうけは悪いこと？」

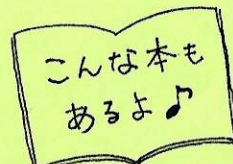
(933ク) マンドリュウ・クレメンツ作

5年生のグレッグはお金をもうけることが大好き。幼稚園に入る前から、家族や近所の人を相手に小遣い稼ぎ。その商売歴と才能たるやハンパではありません。ところが、お向かいには、いつもグレッグのアイデアをマネして何かと張り合ってくるモーラが住んでいて...。お金もうけのことばかり考えていたグレッグが、最後に“priceless”な価値を見つけるところは素敵です!



「世界がほくを笑っても」(913サ) 笹生陽子作

荒れたうちの中学にすごい先生がやってくるらしい。その名も「区教委が放つ最終兵器」(!)。しかし始業式に現れたのは何ともひ弱げなほったい小津先生。しかも緊張のあまり卒倒。この人が担任? っていうかホントに大丈夫なの?



「かせ」の学校のなかまたち
今村兼子作

「おばけ屋のおばけてぶくろ」
あわたのぶこ女

「ハキちゃんのはっぴょうします」
薫くみこ作

「1ねん1くみ1ばんサイコー!」
後藤竜二作
おなじみ1ねん1くみシリーズ。
今回はクロサクくんが転校して
こねびシリーズ"完結"!



「ポークストリート
小学校のなかまたち」
シリーズ

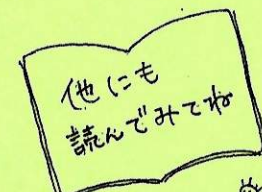
パトリシア・ライリー・キラ作
10巻まであります。個性あふれる
クラスメートたち。もちろんトラブルに
なることだってあるけど...

「どんどんいけいけゆうき号!」
あんずゆき文

「ほくの、トモダチのつくりかた」
さきうまきこ作

「ソクラテス 学校へ行く」
山口タオ作

人間のこぼれ話を語るネコのソクラテスの
シリーズ。こちらは3年生になった
カズヒコとソクラテスのお話。



「ティナの明日」
A・マルチネス・
メンチエン作

「メニメニハート」
令丈ヒロ子作
美人だけどうそつきの女の子と
超マジメな女の子が入れ替わっちゃった!?

「ニンジャ×ピラニア×カリレオ」
グレッグ・ライティック・スミス作
不思議なタイトルは3人の主人公の
コト。最後まで読むと納得!

「花の道は嵐の道」
天野頌子作
それぞれ花道部、
園芸部のお話

「園芸少年」
魚住直子作